

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 3月19日

【評価実施概要】

事業所番号	270101306		
法人名	社会福祉法人桐紫苑		
事業所名	グループホームたもぎの		
所在地 (電話番号)	〒030-0943 青森県青森市幸畑字阿部野50-1 (電話) 017-738-6660		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 1月 17日	評価確定日	平成 20年 3月 19日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 12月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19 人	常勤 14人, 非常勤 5人, 常勤換算	12.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 ~ 30,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性 6 名	女性 21 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名
要介護3	9 名	要介護4	5 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	86 歳	最低	70 歳
		最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山谷医院、ミナトヤ歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>施設は郊外に位置し、周囲は会社等企業が隣接しており、地域密着としての機能を展開させる為には課題がある。但し、管理者を中心に解決に対し前向きであり、花火大会の開催や施設を開放しながら地域と交流し施設の持つ機能の還元を図り、地域の認知症介護力を高める役割を全うしたいと模索している。又、個々の支援体制としては、センタ-方式の導入で細かなアセスメントが成され、一人ひとりの生活歴の掘り下げを行い、穏やかな生活を獲得してもらうよう支援している。人間としての尊厳を第一に、日々の関わりに専門性を持って対応している。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>法人の理念を基本に具体化し実践的に掲げ、全職員に共有されている。但し地域密着サ-ビスという視点に於いては、内容を工夫し、新たな事業所独自の理念を再考して頂きたい。ホ-ム便りも停滞している状況であり、家族や地域の方々への情報提供・啓発として再度取り組み、発行に結び付けて欲しい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者やケアマネ-ジャーを中心に自己評価を行っており、浮き彫りになった課題に対し出来る事から改善するよう努力している。パンフレット配布や行事の案内を行う等しながら地域との連携を強化したいと考えている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の開催は過去1度のみであり、日時の調整や議題等の検討が上手く運ばず苦労している状況に管理者も改善の必要性を強く感じている。運営者・管理者・職員で話し合いを持ち、会議の意義や目的について再確認し、年間計画に盛り込む等計画的な開催に努め、サ-ビスの向上に反映されたい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会や連絡の折に意見の吸い上げや状況報告を行っている。契約時に家族の役割を十分説明し、施設と家族が協力しながら入居者の安定した生活を確保する旨、理解を得、実践に結びつけている。今後はカンファレンス等への参加も働きかけ、より一層連携を強化されたい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>同法人のグル-プホ-ムが他に2ヶ所あり、互いに密に連携と交流を持ちながら、地域への働きかけを強化されたい。それぞれが持つ機能を活用し、役割分担しながら、認知症に対する理解を深めるアクションや、研修・介護教室等の開催等、前向きに取り組んで頂きたい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基本に具体化した内容で作られているが、地域の中でその人らしく生活していく事の、地域密着型としての理念が盛り込まれていない。		地域密着型サービスの事業所として、目的とする方向性を含んだ、独自の理念の構築が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	現在の法人の理念を基本に具体化したものは、全職員に共有されており、日々の支援の中で実践されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	クリスマス会やお楽しみ会を開催し、地域の方々に案内し参加を得て交流を図っている。又、月1回、母体の老健施設で行われている誕生会に参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者やケアマネ - ジャ - を中心に、評価を活かし、課題を押さえながら、改善するよう努力している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>これまで1回の開催であり、定期開催は確保出来ていない。また、内容的にも要望・意見等無く、入居者の内訳報告にとどまり、サ - ビスへの反映までに繋がっていない。</p>		<p>期日や内容、参集範囲等年間計画に盛り込み、定期的な開催と参加者の意見をサ - ビス向上に活かして行く事が望まれる。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>母体の老健施設の事務局が中心となり、市担当者と連絡・報告を行っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>ケアマネ - ジャ - が意欲を持って研修に参加し、活用に繋ぐ知識をもっており、又、マニュアルも整備されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加したり、マニュアルを使い施設内でも学習の機会を設ける等、職員の意識付けが出来ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、十分な説明を行い、理解の強化と不安解消に努めているものの、書類に不備な点が見られる。</p>		<p>契約書類に署名・捺印はされているが、日付が入っていない為、きちんと記入されたい。又、契約書は2部作成で署名・捺印の上、家族と事業所双方が一部ずつ保管するようにされたい。</p>
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会の折に近況報告や、本人の要望等を伝えている。面会が確保出来ない家族に対しては、電話で報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受け付け体制を整備し、担当者を表示し、意見の吸い上げを行いサービスの向上に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者へのダメージを防ぐ為、離職や異動時はきちんと説明を行い、不安の解消に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加は都度母体の事務局より指示があり実施されている。施設内に案内を掲示し、希望者は個人的に参加する事もあり、内容については必要に応じて復命の写しが渡されている。		運営者は、職員の育成の為に計画的に研修参加させ、内容についても全職員が共有出来るよう、報告会を設ける等取組まれない。又、報告会の内容も記録として残し、振り返りが出来る環境を整備されたい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は殆ど無く、グループホーム協会への入会も無い。		協会に入会したり、同業者と交流する機会を多く持ち、情報交換や勉強会を開催する等行い、サービスの質の向上を目指した取り組みを期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と相談しながら、入居前の体験利用を試みたり、個々の馴染みの物を持参してもらい、環境変化を少なくして、適応を支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者と同じ目線で対応するよう心掛けており、生活の知恵を貸してもらったり、互いに支え合う関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センタ - 方式のアセスメントにより一人ひとりの思いや希望を把握し、計画に取り入れている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は作成されているが、カンファレンスとモニタリングが一つの様式にまとめられている為、判別が難しい。</p>		<p>定期的なモニタリングとカンファレンスは区別して実施し、様式も別なもので記録に残し、誰が見ても解かるように整理されたい。又、家族の意見も計画に反映されるよう前向きに検討されたい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なモニタリングと、状態変化に応じた随時の介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体の老健施設の温泉を利用して、入浴を楽しむ機会が定期的であり、入居者から好評を得ている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からの主治医との関わりを優先し、通院を支援、又、歯科医の往診がある。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>かかりつけ医との話し合いは成され協力は得られているが、現在まで終末期の対応の場面は無い。今後は家族の希望等も確認しながら、前向きに取り組んで行く方向である。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々の関わりの中で、人間としての尊厳を最優先した対応に努め、個人のプライバシーを大事にした対応が実践されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者個々が望む生活のパターンを把握し、外出の希望にも出来るだけそいながら、その人らしい暮らしを支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の役割分担が出来ており、職員と共に準備や片付け等行っている。又、同じテーブルで和気藹々とした雰囲気の中で食事を摂っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回以上、個人の希望やペースに合わせてゆったりと入浴出来る体制になっている。又、毎月外出し温泉入浴を楽しんでもらっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活の中で個々の力量に合わせた役割が出来ており、カ－テンを開けたり、茶碗を洗ったり、テーブルを拭いたりと有用感を持って活動している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>年間の中で、遠出の外出行事等計画、又ショッピングや散歩等は日常的に要望を取り入れ実施しており、率先して外出する機会を設けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束防止に対する内部での勉強会やマニュアルがあり、職員間の意識付けは出来ており、拘束は無い。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>現在、頻繁に外出を試みる入居者があり、止むを得ず日中も施錠している状況である。</p>		<p>外出希望の背景にあるものを理解し、ソフト面の対応で安定を支援する一方、観葉植物や衝立等を利用して、鍵を掛けない工夫をして欲しい。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年1回は消防署と地域住民の協力を得て、避難訓練を実施している。又、年1～2回、地元の消防団の巡回があり、協力体制が出来ている。</p>		
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>同法人の他のグル - プホ - ムに栄養士が配置されており、献立作成、栄養量の確保が出来ている。食事や水分等の摂取量も記録に残し、健康管理に反映させている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>入居者、職員共にインフルエンザの予防接種を行っている。感染症対策のマニュアルがあり、日常的には、手洗い・うがいの励行で感染防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内は、温度・湿度・採光の調節が適度に行われており、廊下や共有スペースには季節感を取り入れた飾りつけが施されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使い慣れた物を持参してもらい、居室の空間も在宅との差異を少なくするよう配慮されている。寝具は個人の物を使用、写真を飾ったり、個々の特性が窺える空間となっている。</p>		

 は、重点項目。